



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1994-5

BE A FRIEND

友達になろう

1994-5年度国際ロータリーのテーマ/ビル・ハントレーRI会長

●本日の例会

3月31日/第410回例会

■卓

話 「ホテルを建てる」

当クラブ会員

全日空エンタプライズ(株)常勤顧問 村川 優君



花

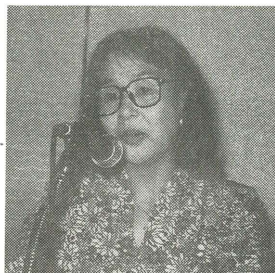
武島 羽衣 作詞
瀧 廉太郎 作曲

ソングリーダー 川鍋二郎君
ピアノ伴奏 泉 晶子さん

春のうららの ^{すみだ}隅田川 のぼりくだりの ^{ふなびと}船人が
^か櫂のしずくも ^{なが}花と散る ^た眺めをを何に ^{たと}喩うべき

●先週報告

3月24日/第409回例会
18:00~20:00



夜間例会/レディス・デー

■卓

話 「ほのかな明るさの世界 —— 老いからの問いかけ ——」

千葉大学文学部行動科学科教授 天野正子氏

■会長報告

先日地区大会の席上で米山功労者として表彰された平井逸夫君、伊部和夫君、小湊雅亮君、松原秋夫君、柴藤清三郎君に表彰状をお渡ししました。

また、当クラブも米山功労クラブとして表彰状を頂戴しました。

■次期国際奉仕委員長(鈴木重徳)

地区青少年交換学生ホストクラブ会議(3/18)報告

(出席者/伊部青少年交換委員会、宮本次期青少年交換委員長、鈴木次期国際奉仕委員長)

当クラブでホストクラブを引き受ける来日青少年交換学生が決まりました。お名前は、Miss Rachel Elizabeth BLASER、アメリカ・ネブラスカ出身の音楽の好きな特にチェロ演奏の得意な女子高校生です。95年8月より1年間、当クラブでお世話することになりますので、その準備[カウンセラー、ホストファミリー(ホームステイ)等]を始めます。全会員の皆様、ご家族の皆様のご協力をお願い申し上げます。

■R情報委員会(渡邊委員長)

4月4日の火曜会は当委員会の運営となっております。テーマは「2月24日のクラブ・フォーラムのフォロー・アップ」としたいと思います。クラブ・フォーラムは、私共の運営のまずさから時間切れの感が強く残りました。そこで4月4日の火曜会では、時間をあまり気にしないで、自由にフォーラムでのテーマを全員で討議したいと思います。皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

■慶事披露 ●お誕生日祝/二宮利泰君(3月27日) ●100%出席/鈴木重徳君(8年)

■出席報告 ●会員71名・出席44名・欠席27名(出席規定免除者5名)

ゲスト(1名)馬場久萬男氏(大日方ゲスト)

ご家族(8名・敬称略)平井恵子、石坂雅子、石束陽子、宮武洋子、佐藤悌子、新保寧子、山川佐智子、吉田克枝

●東京新南ロータリークラブ4月行事予定

4日(火) 火曜会 17:30~19:30 東京全日空ホテル 37F アストラル

7日(金) 4月定例理事会 例会後 13:40~15:00 東京全日空ホテル 1F 孔雀の間

12日(水) 地区会長・幹事会議 京王プラザホテル 会議/15:30~17:30

懇親会/17:30~19:00

14日(金) 第5回クラブ協議会 例会後 13:40~15:00 京全日空ホテル B1 八雲の間

テーマ「本年是が非でもしなければならぬこと」

26日(水) 第6回千代田区分区会長・幹事会 パレスホテル 18:30~20:00

4月は
ロータリー雑誌
月間です

ニコニコBOX

順不同、敬称略

3月24日11件 ¥35,000

94-95年度累計 ¥1,703,245

多額の御寄付を有難う

ございました。

芦谷庸二郎/天野さん本日はありがとうございました。二宮 利泰/元気で誕生日を迎えられました。川鍋 二郎/奥様方よくいらっしゃいました。佐々木忠行/レディースティのために。宮武 保義/久しぶりのレディス・デーに参加させていただきました。高須 康有/久しぶりの夜間例会を大いに楽しませてもらいます。後藤 信夫/ご家族の皆様良くおいで下さいました。こよいひとときお楽しみ下さいませ。荒木 昭文/青野さん昨日は有り難うございました。山下 忠治/メイキャップが続きました。還暦を迎え人性をさらにエンジョイしたいと思っております。石東 嘉男/しばらく例会に欠席しているうちに、世の中騒然として参りました。皆様、どうかお氣をつけて。高橋 良士/ニコニコボックスの御協力に感謝して。

●R財団GSE・千代田分区受入行事に参加して

国際奉仕委員会 宮本 正祥

3月15日(水) 12:30~18:30

本年度から始まった地区のGSE受入に伴い、米国チーム5名を千代田分区で3月11日より15日までお世話する事となりました。最終日は都庁の訪問と東京湾ゴミ処理見学が予定され、当クラブから石坂会員と宮本が午後の乗船より参加しました。

米国からは団長のヤンガーさん、ヴェントレさん(銀行)、ウォーカーさん(医療)、リカードさん(港湾)、そしてウッツさん(公団)、又分区からは各クラブのロータリアン等が参加、一時間のクルージングが行われました。通訳付きの案内のはずでしたが、何故か石坂さんが急きょ指名されブロードキャスターを行う羽目になりましたが、英語の方もやっぱり石坂節で大活躍でした。

下船してからは芝増上寺を見学、GSEメンバーのみ

ならず私共もその歴史と文化の深さに改めて感銘。

そしてその後、徒歩にて東京プリンスホテルの会場へ移動。地区の方々、ホストクラブ(芝RC)、コホストクラブ(みなとRC)の会員やご夫人方が参加され、レセプションが盛大に行われました。

このGSE (GROUP STUDY EXCHANGE) の目的は職業が異なったメンバーの受入と派遣を相手の地区と交互に行い、その職業や職場が相手国においてはどういう実体であるか、又どのように運営されているか、現場を訪問し比較して、お互いに学び取ろうという企画です。

「短期間だけど実のりがあると良いネ」、そう言いながら6時過ぎに石坂さんと会場を後にしました。

●ロータリー雑誌月間にあたって

雑誌委員長 荒木 昭文

4月は雑誌月間です。雑誌月間の目的は「ロータリーの友」誌に対する認識を深めていただき、それによってロータリー情報の普及を計ることにあります。

「ロータリーの友」誌の講読は、会費の納入・出席と共にロータリアンの三大義務の一つです。しかし各クラブの読みようの実態は、良く読む人、まあまあの人、あまり読まない人、とそれぞれ3分の1づつとのことです。

「ロータリーの友」誌はロータリアンとしての知識・倫理を一層深め、かつ会員相互の親睦や広報に大きな効果をもたらしているものです。決して「読まれざるベストセラー」と陰口されるものではありません。

1991年にはR1より各国の公式地域雑誌の中から総合最優秀賞を受賞し、文字どおり日本の「ロータリアンの友」として歩み続け、育てられてきた素晴らしい雑誌です。

「ロータリーの友」誌は当初、R1の公式雑誌「ザ・ロータリアン」及び「レピスター・ロータリアン」の翻訳内容を主に、日本語版として1953年1月に約3300部で創刊され、1972年には現在の雑誌形態になりました。特に、公式関係記事を「横組」に、国内会員記事を「縦組」にした割付けは世界的にも例を見ず、中でも表裏両面が表紙という大変ユニークな「ロータリーの友」誌が出来上りました。

そして1977年、定款第10条の改正で公式地域雑誌の規定が設けられ、1980年7月、公式地域雑誌となりました。

創刊より42年、現在の発行部数は13万8千部、通巻505号の雑誌に成長しました。

以上「ロータリーの友」誌の歴史のわずかな部分をお伝えすることで会員の皆様にとって「ロータリーの友」誌がより一層興味をもって読まれますよう願ってやまない次第です。

●青少年交換(派遣)学生・清家純さん近況報告(第6報)

新年が明け、すぐにホストチェンジをし新しい環境の中での生活も、すでに1ヶ月が過ぎ様としています。ホスト・チェンジなんて考えられない。と思っていたものの実際してみるとやはりこれはすごく貴重な経験だと感じざるを得ませんでした。ホスト・チェンジをする前はまた何も知らない人たちと、わかり合うのに時間がかかると思い、何もかも、また始めからやり直さなければならぬ気がしていました。確かにそうでした、けれどそれはとても新鮮で、新しい発見をする大きなきっかけでした。両家族とも本当に良い人達に恵まれて、もう少し辛い経験もしなくては行けないのではないかと感じてしまうほどです。けれど、それぞれで良い面も異なるし、話の話題なども変わってきました。前の家では、日本について聞かれることが多かったのですが、今はアメリカをどう思うかと聞かれることが多い気がします。ホスト・チェンジも終わり、落ちつくかなと思われた私の生活ですが、今はトラックチームに入部して毎日けっこう忙しいです。入部する前はインドア・トラックと言うことだったのですが、入部してみたら毎日雪の中を手袋にマフラーに帽子にコートを着て走っています。毎日3、4マイル走るのですが、普通ならそれだけ走れば、汗をかくのですが、今は走り終わって学校に戻ると汗をかくどころか髪が凍っているという状態です。

この寒さ、想像できますか? 日本は暖冬と言うことなので無理でしょう。けれど今年は例年に比べると寒くないらしいです。よく「良い年に来たね。」と言われます。

日本の皆様は良いお年を迎えることができたか? アメリカのNew Yearはあまり変わったことがありませんでした。クリスマスがメインです。この間、中国のNew Yearパーティーに誘われて行ってきました。中国のNew Yearは毎年、日にちが決まっているわけではないので、今年は2月1日だったのですが、来年は、また違う日になるそうです。とてもたくさんの人に「中国のNew Yearが2月1日だから、日本もそうなのではないか?」と聞かれました。どうして中国が、そうだと日本もそうだと思ってしまうのですかね? そう言えばこの前、私が台湾人の子を間違えて中国人と言ってしまった時、その子は、ひどく怒っていました。その時はそんなに怒ることないのと思っていたのですが、今思うとその子の気持ちがわかる気がします。それは自分の国に誇りを持っているということです。素晴らしいことだと思います。私も日本という国に、もっともっと誇りをうけておもしろいアピールして行こうと思います。

●他クラブ例会 臨時変更の お知らせ

東京日本橋西RC 4/5(水)→夜間例会
東京みなとRC 4/11(火)→夜間例会
東京芝RC 4/12(水)→夜間例会
(創立27周年記念)

東京シティ日本橋RC 4/14(金)→夜間例会
東京新橋RC 4/18(火)→夜間例会
(創立10周年記念)

●次回予告

4月7日/第411回例会

■卓話「『ロータリーの友』について」

R1第2750地区パストガバナー
ロータリーの友委員会副委員長

秋山 一氏

東京新南ロータリークラブ

会長: 馬場一廣 副会長: 二宮利泰 幹事: 後藤信夫

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日・12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

吉田 用親、柴藤清三郎、川鍋 二郎、
田中 武、山川 政樹、梶内 滋男、
宮本 正祥、新保 國彦、横山 秀明、
河原 勢自(編集担当順)